

平成 2 9 年度第 1 3 回定例会

八王子市教育委員会議事録（公開）

日	時	平成 2 9 年 1 1 月 1 5 日（水）	午前 9 時 3 0 分
場	所	八王子市役所 議会棟 4 階	第 3 ・ 第 4 委員会室

第 1 3 回定例会議事日程

1 日 時 平成 2 9 年 1 1 月 1 5 日 (水) 午前 9 時 3 0 分

2 場 所 八王子市役所 議会棟 4 階 第 3 ・ 第 4 委員会室

3 会議に付すべき事件

第 1 第 4 2 号議案 高齢者叙勲候補者の推薦について

第 2 第 4 3 号議案 高齢者叙勲候補者の推薦について

第 3 第 4 4 号議案 平成 2 9 年度 1 1 月補正予算の調製依頼について

4 報告事項

- ・市立中学校生徒に係る事故への対応状況について (指導課)
- ・平成 2 9 年秋の叙勲の受章について (教職員課)
- ・平成 2 9 年度青少年海外交流事業について (生涯学習政策課)
- ・平成 3 0 年成人式の開催について (生涯学習政策課)
- ・東京八王子トレインズとの連携協力に関する協定の締結について
(スポーツ振興課)
- ・市制 1 0 0 周年記念事業「桑都フォトロゲイニング」の実施結果について
(スポーツ振興課)
- ・「読書ノート」の活用について (図書館部)

その他報告

出席者

教 育 長	安 間 英 潮
委 員	村 松 直 和
委 員	柴 田 彩 千 子
教育長職務代理者	大 橋 明
委 員	笠 原 麻 里

教育委員会事務局出席者

学 校 教 育 部 長	廣 瀬 勉
学校教育部指導担当部長	山 下 久 也
教 育 総 務 課 長	小 林 順 一
学 校 教 育 政 策 課 長	橋 本 盛 重
学校複合施設整備課長	内 野 茂 樹
施 設 管 理 課 長	松 土 和 広
保 健 給 食 課 長	野 田 明 美
教 育 支 援 課 長	穴 井 由 美 子
指 導 課 長	中 村 東 洋 治
教 職 員 課 長	廣 瀬 和 宏
統 括 指 導 主 事	佐 藤 晴 美
統 括 指 導 主 事	野 村 洋 介
生涯学習スポーツ部長	瀬 尾 和 子
生涯学習政策課長	平 塚 裕 之
ス ポ ー ツ 振 興 課 長	坂 口 崇 文
ス ポ ー ツ 施 設 管 理 課 長	佐 藤 晴 久
学 習 支 援 課 長	浅 岡 秀 夫
文 化 財 課 長	中 野 み どり
こ ど も 科 学 館 長	叶 清
図 書 館 部 長	石 黒 み どり

中央図書館長	太田浩市
生涯学習センター図書館長	新納泰隆
南大沢図書館長	安達和之
川口図書館長	福田秀之
指導課指導主事	上野和広
保健給食課主査	原陽子
教職員課主査	野村秀郎
生涯学習政策課主査	杉山浩一
生涯学習政策課主査	塩澤宏幸
教育総務課主査	堀川悟
教育総務課主任	飯田知子
教育総務課主事	廣瀬桃子
教育総務課囑託員	古瀬村温美

【午前9時30分開会】

安間教育長 大変お待たせいたしました。

本日の出席は5名でありますので、本日の委員会は有効に成立をいたしました。

これより平成29年度第13回定例会を開会いたします。

本市では地球温暖化対策、省資源対策の一環として節電等に取り組んでおります。本定例会においても、照明の一部消灯を実施いたしておりますので、御理解いただきますよう、お願いいたします。

本日の議事録署名員の指名をいたします。

本日の議事録署名員は、村松直和委員を指名いたします。よろしく申し上げます。

本日の議事でございますが、第42号議案、第43号議案及び報告事項「市立中学校生徒に係る事故への対応状況について」は審議内容が個人情報に及ぶため、また、第44号議案はいまだ意思形成過程のため、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第7項及び第8項の規定により、非公開といたしたいと思っておりますが、御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

安間教育長 御異議ないものと認めます。

それでは、それ以外の日程について進行をいたします。

安間教育長 報告事項です。

教職員課から報告願います。

廣瀬教職員課長 おはようございます。

それでは、平成29年秋の叙勲の受賞についてでございます。叙勲を受賞されましたのは、元八王子市立第五中学校長、内藤十一。受賞内容は、瑞宝双光章。発令日は平成29年11月3日、祝日でございます。

経歴でございますが、教育公務員歴40年、校長歴6年で、本市で第三中学校、第五中学校の校長を勤められておりました。まだお元気で、11月12日、皇居のほうに御夫婦で出席されたということです。

以上です。

安間教育長 只今、報告は終わりました。

本件について、御質疑はございませんか。よろしゅうございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

安間教育長 それでは、委員一同、心からお喜びを申し上げたいと思います。

続きまして、生涯学習政策課から、2件報告をお願いいたします。

平塚生涯学習政策課長 それでは、平成29年度青少年海外交流事業について、担当の塩澤主査から報告をさせていただきます。

塩澤生涯学習政策課主査 それでは、お手元の資料にそって御報告いたします。

まず、事業の目的でございますが、海外友好都市との間で青少年を派遣、及び受け入れを行うことにより、スポーツ等を通じた友好親善を深めるとともに、異文化を体験することにより、国際的視野を持った青少年の育成を図ることを目的に実施しております。

続きまして、内容についてでございます。

まず、今回の派遣先は、台湾の高雄市でございます。また、交流内容につきましては、硬式テニスのほかに、現地中学校におきまして、授業を通じた交流を行います。

続きまして日程でございますが、平成29年12月26日、火曜日から、29日、金曜日までの3泊4日でございます。このうち27日と28日の2日間で、高雄市の正興中学校と交流試合を行います。また、28日の試合終了後には、正興中学校において、学校給食を通じた交流のほか、学年に分かれて授業の中で交流を行います。なお、12月2日の土曜日に派遣団の結団式を行います。

続きまして、裏面に移らせていただきます。

派遣団員についてですが、中学生16名。内訳といたしまして、男女各8名を、八王子市中学校体育連盟、以下、中体連と省略いたします。中体連テニス部より選抜していただいております。内訳は以下のとおりでございます。

続きまして、引率者でございます。事務局4名、教員3名、計7名でございます。まず事務局でございますが、団長として、瀬尾和子生涯学習スポーツ部長、事務局長として、平塚裕之生涯学習政策課長、事務局員として、生涯学習政策課主査、私、塩澤、そして、通訳として、多文化共生推進課の金鳳淑嘱託員となります。

また、教員につきましては、中体連会長の、浅川中学校、工藤彰久校長のほか、中体連テニス部より、館中学校、内藤克也主幹教諭、みなみ野中学校、栗林真帆教諭の3名でございます。

続きまして、参加費用につきましては、青少年海外派遣基金を活用するため、無料としております。

続きまして、パネル展についてでございますが、資料に訂正がございます。資料では平成30年1月22日、月曜日からとなっておりますが、正しくは平成30年1月23日、火曜日からとなりますので、申し訳ございませんが、訂正をお願いいたします。平成30年1月23日、火曜日から、2月2日金曜日の間、八王子駅南口総合事務所多目的スペースで開催いたします。

なお、参考としまして、過去の青少年海外交流事業の実績を掲載しております。説明は以上でございます。

安間教育長 只今、生涯学習政策課からの報告は終わりました。本件について御質疑はございませんか。

御意見を含んででも結構でございます。いかがでしょうか。

村松委員 おはようございます。

今年はテニスということで、ぜひ八王子の中学校の子たちに頑張ってもらいたいなと思います。今、世界情勢ですとかいろいろなことがありますので、ぜひ往復の交通も含め、気を配って引率していただきたいと思います。

また、今年は団長が瀬尾部長ということで、今後期待していることですか、また、意気込みを聞かせていただければと思います。

瀬尾生涯学習スポーツ部長 ありがとうございます。

子ども達にスポーツを通じて友好親善、あるいは国際的な視野ということを目指しているところです。昨年、私も同行しまして、実感をしたところですが、子ども達はスポーツ交流を通して、百聞は一見に如かずといいますが、あっという間に交流をします。その中で、悔しい思いや喜びというのを感じることももちろんのこと、試合が終わればその友好を深められるということが、今後の子どもたちの世界観を持った実力の向上であるとか、コミュニティの振興であるとか、そういう視野を持てるという目的が達せられることになることを期待していますので、その一

助になるよう、十分準備してまいりたいと思います。

気をつけて行ってきます。

安間教育長 ありがとうございます。

御配慮ある御質問をありがとうございました。

よろしゅうございますか。

大橋委員 海外の同年齢の子どもたちと交流するというのは、非常に意義のあることだというふうに思います。資料の最後の4番の参考のところ、派遣、これまでの派遣実績を見ると、これまで隔年でやってきたのが、27、28、そして今年29と、毎年行うようになっていますが、これは、今後も毎年行っていくように考えていらっしゃるのかどうか、そのあたりを教えていただければというふうに思います。

塩澤生涯学習政策課主査 今後の派遣の予定でございますが、基本的には、毎年派遣のほうは行うという考えであります。

資料にございますように、派遣が途切れている年がございますが、先方の都合により派遣することができなかったということがございます。引き続き毎年行っていくということで考えております。

以上でございます。

安間教育長 よろしゅうございますか。

昨年のバドミントンは、高雄市は広くて子どもたちがいっぱいいるので、実力差がかなりあったとお伺いしていますけれども、同じような結果になってしまうのかなとは思いますが、去年行った子どもたちの感想なんかを聞くと、部活の技術の話は別として、向こうの子たちがすぐ英語をベラベラしゃべって話しかけてきたのにびっくりしたなんていう、そんな話がありましたから、向こうで学ぶことも大事ですけれども、事前に学べる部分は、どんどん学ばせておいてあげてください。

それでは、本件、報告として承ろうと思います。

引き続きまして、生涯学習政策課からお願いいたします。

平塚生涯学習政策課長 続きまして、平成30年成人式の開催について、担当の杉山主査から報告させていただきます。

杉山生涯学習政策課主査 それでは、成人式の開催について報告いたします。報告資料を合わせて御覧いただきたく存じます。

本市の成人式は、新成人に対して大人としての自覚を促し、成人の仲間入りをしたことを、祝い励ますことを目的に毎年開催しているものでございます。

今回、平成30年成人式の開催について、式の概要を御報告いたします。まず、日時について御報告いたします。開催日は成人の日である1月8日、月曜日です。時間につきましては、本市の成人式は、午前午後の二部構成をとっており、第1回目は午前10時から、第2回目は午後12時半からそれぞれ1時間となっております。会場は八王子駅南口のオリンパスホール八王子でございます。内容につきましては、午前午後とも共通内容でございまして、式典の部とアトラクションの部の二部構成を取ってございます。

続きまして対象者でございます。平成9年4月2日から、翌平成10年4月1日までに生まれた方が、今回の成人式の対象者でございまして、約7,600名の方が対象でございます。本市の成人式は、市外にお住まいの方についても参加可能としておるところでございます。

また、本市の成人式の企画運営につきましては、成人式実行委員会の方と一緒にっており、今回は8名の方に委員として活動いただいております。プログラムにつきましては、式典の部に引き続きまして、アトラクションの部でございますが、映像作品といたしまして、八王子100年応援団のヒロミさんからのビデオメッセージ、成人式実行委員作成の映像作品の上映の他、八王子高校吹奏楽部による吹奏楽演奏を予定してございます。

最後に今後の予定でございます。来月12月の上旬に上記対象者の方皆様に御案内のはがきをお送りいたします。また、成人式の様子につきましては、翌平成30年1月23日から2月2日までの間、八王子市南口総合事務所のスペースにおきまして、パネル展を実施いたしまして、写真等の展示を行います。

報告は以上でございます。

安間教育長 只今報告が終わりました。本件について御質疑はございませんか。

御意見等を含めていただいても結構でございます。いかがでしょうか。よろしゅうございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

安間教育長 では、委員の方々もぜひ、御出席をお願いしております。

確認ですが、オリンパスって、定員2000人と書いてあるのは、2000しか椅子がないということですよ。4000だとか、3,600人くらいは来ないという見込みで大丈夫なんですか。

杉山生涯学習政策課主査　そうですね、昨年の実績でございますが、第1回、第2回合計で3500名程度の出席でございますので、1回にならしますと、1700程度ですので、若干の空きは、多少ありますが、ほぼ満員ということで、出席いただいております。

安間教育長　もし仮に何かの拍子で皆来ちゃった場合の、何かそういった場合もぜひ、いろいろな配慮をしてあげてくださいね。よろしくお願いします。

よろしゅうございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

安間教育長　それでは報告として承らせていただきます。

続きまして、スポーツ振興課から2件報告をお願いいたします。

坂口スポーツ振興課長　それでは、東京八王子トレインズとの連携協力に関する協定の締結について御報告いたします。

初めに、1報告趣旨ですが、プロスポーツチームとの連携につきましては、八王子市スポーツ推進計画において、プロスポーツを誘致し、子どもたちにハイレベルな競技を身近に感じてもらうため、プロスポーツの試合を開催すること、また、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた取り組み方針でございます。八王子レガシープランにおいても、プロスポーツチームをスポーツ資源と捉え、相乗効果を生み出す取り組みを推進することを掲げ、その推進に取り組んできたところでございます。そういった状況の中で、スポーツに対する興味や意識を高め、また、人と人とを一つに結びつける力を持つ地域プロスポーツがもたらす効果を活用し、生涯スポーツ社会の実現と、地域の活性化を図るため、このたび、本市を本拠地とする東京八王子トレインズとの連携協力に関する連携の協力を締結することに至り、御報告するものでございます。

次に、2報告内容です。まず、連携協力の内容についてですが、大きく分けてスポーツ振興及び地域貢献に関すること、広報活動に関すること、試合会場の利用に関することの三点になります。

連携協力による効果につきましては、アからキまで、七つほど列記をいたしました。冒頭の報告趣旨でもふれさせていただきましたが、観るスポーツの推進を始め、市民のスポーツに対する意識の向上、青少年の健全育成など、いずれも生涯スポーツ社会の実現と地域の活性化につながる効果が期待されます。キの東京八王子トレインズの上位リーグ昇格の条件の達成につきましては、裏面の下図を御覧ください。

Bリーグの組織体制を三角形の図でお示ししておりますが、現在、東京八王子トレインズはB3リーグに属しております。上位リーグのB2に昇格するためには、B3リーグで1位になり、かつ、B2リーグの最下位のチームとの入れかえ戦に勝った場合に昇格できることとなります。また、その前提条件としまして、Bリーグの規約等に、自治体がホームアリーナであることを承認していること、ホームゲーム数の60%以上、18試合になりますが、この試合をホームアリーナで開催することと規定されております。

この前提条件を満たすこととなります。なお、B2リーグに昇格することにより、新聞等のメディア露出も増え、また、チーム名に八王子とあることから、シティプロモーションの効果が期待できます。また、今シーズンB2リーグに昇格したチームがある自治体に、昇格に伴う効果について確認したところ、市外からの集客が増え、市民も昇格に大いに盛り上がり、地域の活性化につながったとの回答がありました。

3東京八王子トレインズの概要についてですが、資料裏面、上段の表を御覧ください。11月2日現在、スポンサー企業は125社、ファンクラブの会員数は761名となっております。成績につきましては、昨シーズンは3位、今シーズンはファーストステージで優勝しております。シーズンはファーストステージ、レギュラーシーズン、ファイナルステージと三つのステージに分かれ、各ステージにて順位を決定し、順位ごとに得点が加算されていきます。現在、ファーストステージは終了し、レギュラーシーズンに移っており、今日現在、レギュラーシーズンでも1位となっております。

地域貢献につきましては、平成28年度の実績ですが、市内の公立小中学生に全ホームゲームが無料で観戦できる定期券の配付をしたほか、保育園や小学校等への訪問を実施しました。

4 締結日ですが、11月22日水曜日とし、市長記者会見後に締結式を行います。
最後に今後のスケジュールですが、11月20日にプレスリリースを行い、11月22日に締結式を開催いたします。

報告は以上です。

安間教育長 只今スポーツ振興課からの報告は終わりました。本件について、御質疑はございませんか。

柴田委員 質問があるんですけども、地域貢献の活動として、保育園の訪問が96回と一番多く、小学校、中学校と比べて多くしているんですが、保育園の訪問が多いという背景と、小学校、中学校ではどういった時間に訪問をしたのかということについて教えていただきたいと思います。

坂口スポーツ振興課長 保育園の回数が多い理由につきましては、これは保育園のほうからトレインズ側のほうに来てほしいという要望があったものになります。複数の保育園を訪問しているんですけども、決まった保育園に複数回訪問しているという実績もございます。

小学校訪問の内容につきましては、体育の授業での活動を補助したり、あるいは子どもたちと一緒に給食を食べたり、そういった取り組みを実施しているところで

以上です。

安間教育長 よろしゅうございますか。ほかにございましょうか。

村松委員 連携協力の効果の中で、ウの学校訪問等による青少年の健全育成とあります。今柴田委員が御質問されたように、今回は中学校訪問のほうで3回ということで、こちらのほうが随分少ないな、なんていう印象を受けます。中学校は御存知のとおり、バスケが盛んに行われておりますので、今後締結するのによって、中学校もそうですし、小学校もそうですが、学校の子どもたちのためにどういう活動をしていくとか、何か決まっていることがあれば教えていただきたいんですが。

坂口スポーツ振興課長 こちらは協定後のお話になるんですけども、今トレインズさんとの調整をしている段階では、やはり御指摘があった中学校の訪問が少ないということで、朝の挨拶運動をさせてほしいということで、今中学校の校長会のほうに調整をしているような状況です。早くて12月ごろから38校全部の学校で朝、

トレインズの選手が中学校の生徒に挨拶、声かけをするというような取り組みをしたいと考えているところです。

村松委員　挨拶は大事ですので、ぜひ取り組んでいただきたいのもそうなんですけれども、実際このバスケットの指導ですとか、そういったことはお考えじゃないんですかね。

坂口スポーツ振興課長　バスケットの指導につきましても、学校側の要望があれば対応はできるような形にはなっております。また、既にトレインズさんのほうには、中学生を対象とした、バスケットボール教室というものも開催させていただいております。この協定の締結によって、そういった活動がより充実できるように心がけて行きます。

安間教育長　よろしゅうございますか。

ほかにございましょうか。

柴田委員　協定後のお話で、部活動支援に、こういった選手が入るということは考えられますか。

坂口スポーツ振興課長　学校側でそういった要望があれば、シーズン中は難しいかもしれないんですけども、オフシーズンであれば十分対応はできると考えております。

安間教育長　あの、プロ野球のような、そのプロアマ協定みたいなものはないんですか。大丈夫なんですか、バスケの世界は。

坂口スポーツ振興課長　今のところそういった話は、Bリーグの規約の中には特にはないと思います。

安間教育長　ほかに委員の方からございますか。

今回、試合会場で60%、18試合というんですが、念のための確認ですけども、それによって本市の体育館の市民が活動するその順序性、優先順位とか、そういうのが乱れるということはないですね。

坂口スポーツ振興課長　そういった状況は今のところない状況になっています。

安間教育長　では、うまく収まったということで理解をしておきたいと思います。

よろしゅうございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

安間教育長　それでは、報告として承らせていただきます。

引き続き、スポーツ振興課からお願いいたします。

坂口スポーツ振興課長　続きまして、市制100周年記念事業「桑都フォトロゲイニング」の実施結果について御報告いたします。

市制100周年記念事業「桑都フォトロゲイニング」は、平成29年11月4日、土曜日に市立第三小学校を会場に、10時スタート、制限時間3時間で行いました。当日は八王子市内の各所に、合計39か所のチェックポイントを配置し、改めて八王子を知ってもらうことを目的に開催したところ、八王子市内外から、39チーム、123名の方に御参加をいただきました。

この大会では、男子・女子・男女混合、中学生以下の子どもを含む、ファミリーの4部門を設け、各部門上位1位から3位までの12チームと、特別賞として、八王子にちなみ、総合8位のチームと、100周年にちなみ、総合順位で100番目にゴールした人が所属するチームの2チームを表彰しました。

なお表彰された14チームには、八王子の特産品である絹織物の製品や、今市内で人気店となっているお店のお土産品などを提供し、八王子のPRに努めたところ です。

以上で報告は終わります。

安間教育長　只今スポーツ振興課からの報告は終わりました。本件について、御質疑はございませんか。

柴田委員　参加人数については教えていただいたんですが、市外と市内と、どちらの参加者が多かったんでしょうか。もし割合などが分かっていたら教えていただきたいと思います。

坂口スポーツ振興課長　内訳になります。チーム数ですと、39チームのうち、市内が17、市外が22になります。123名の参加人数の内訳は、市内が58名、市外が65名となり、市外からの参加の方が多かったような状況になっております。

安間教育長　よろしゅうございますか。

ほかにございましょうか。

村松委員　参加人数は分かったんですけども、こちらを運営してくださっているボランティアのスタッフの方はどのくらいいらしたんでしょうか。

坂口スポーツ振興課長 お手伝いをいただいた人数なんですけれども、当日の運営としましては、八王子市スポーツ推進委員の方々が35名程度、それと、ゴールした方々に振る舞いとして、豚汁やおにぎりを提供させていただいたんですけれども、そこには第三地区スポーツクラブの方々にお手伝いをいただきました。

安間教育長 よろしゅうございますか。

ほかにございましょうか。よろしゅうございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

安間教育長 私も表彰式に参加させていただきましたけど、今村松委員からお話があった、この第三地区スポーツクラブの方々ね、本当に豚汁を大きな鍋で作っていただいている、こういうのも八王子の力だなと私は改めて感じたことは報告させていただきます。

また、ここら辺は、警察署の関係で警備もいろいろあったんですけれども、そういうこともなく、無事になっていらっしやいました。一応報告もさせたいと思います。

それでは報告として承らせていただきます。

続きまして、図書館部から報告をお願いいたします。

福田川口図書館長 それでは私から、小学生を対象とした、読書ノートの活用について御報告いたします。

報告の趣旨ですが、図書館部では、第3次読書のまち八王子推進計画に基づき、家庭・地域・学校で読書が楽しめるように、さまざまな事業を展開しております。このたび、児童が楽しみながら、読書にさらに親しめるように、小学生を対象に読書ノートを作成し、活用していただくためでございます。

報告の内容ですが、まず、目的といたしましては、児童が読書によって得た知識や感想、感動などを振り返るツールの一つとしていただきたい。また、多くの本を読み終えたという達成感も得てもらいたい。この読書ノートにより、楽しみながら読書をする習慣化を図り、小学生という感受性の豊かな時期に情操を高めていただきたい、そんな思いを込めまして作成をいたしました。

また、乳幼児を対象としたブックスタートが10年を迎えており、ブックスタート事業のセカンドバージョンとして、読書活動推進の働きかけの意味合いも加味し

ております。読書ノートの活用方法については、図書館部の事業における活用、各小学校での読書活動においての活用もしていただけたらと考えております。各学校とは連携をはかりながら進めていきたいと思っております。

制作部数は、小学校1年生から3年生用、4年生から6年生用、各500部であります。今回は試作としての意味合いもあり、実際に運用する児童、司書の方々の声なども参考にしながら微調整をし、来年度も印刷をする予定でございます。また、ホームページにデータを掲載し、ダウンロードして利用できるようにし、だれでも活用できるように周知してまいります。

読書ノートに登場するキャラクターたちは、市の花やまゆりをモチーフにオリジナル作成をいたしました。このイラストは、市内在住の漫画家であり、イラストレーターでもあります、ペンネーム茶豆和菓子さんに無償にて作成提供御協力をいただきました。

報告は以上でございます。

安間教育長 只今、図書館部からの報告は終わりました本件について御質疑はございませんか。

笠原委員 素敵な取り組みをありがとうございます。子どもたちには、本当に本をたくさん読んでもらいたいなと私も思っております。やはり外に出られない子どもとか、家の中でのいるような子たちも確かにおりまして、そういう子たちが本に触れる機会などが多いと、また、自分が実際体験できないことも体験できるのが読書の世界かなと思っておりますので、いろいろ進めていただきたいと思っております。

それにつきまして一つ質問というか、考え方を伺いたいのですが、ホームページにダウンロードまでしていただいて、そうすると、もうこれでダウンロードすれば使えるということになるのはとても良いと思うのですが、この「ココロダマ」という、素敵なこれ、ミシュランの星みたいな感じでやるんだと思うんですけど、こういうのが、もし例えば読んだ子どもたちから、何かアクセスできるような、これ良いよ、この本素敵だなというようなことを発信ができるようなサイトなどがあるとより楽しいのかな。今の子どもたちはそのくらいのことはできるんじゃないかなと思うんですけども、そんなことに関してはいかがでしょうか。

福田川口図書館長 すばらしい御意見をいただきましてありがとうございます。そう

いった子どもたちの生の声を生かして進めていくのが、この読書ノートの趣旨でもございますので、そういった声を反映しながら対応していけたらというふうに思っております。ありがとうございます。

安間教育長 ぜひ可能なところでやり始めてください。

ほかにございますか。

柴田委員 読書ノートを拝見させていただきまして、小学生版のほうなんですけど、小学校ごとにこういう読書記録ノートのようなものって、もしかしたら学校にもよるかもしれませんが、多くの学校であるのかなというふうにも思います。そういった場合には、重複して子どもたちがこのような本をこちらにも書いていくのかなというふうにイメージしたのですけれども、むしろブックスタートに参加をされた乳幼児の保護者の方にこういう物を配付して幼児期の絵本の親子間の交流の記録のように役立つのも、ひとつ方法かなと思いましたので、意見として提言させていただきます。

福田川口図書館長 また御意見もいただきましてありがとうございます。確かに学校のほう、松枝小学校と川口図書館は、地域と連携して学校の取り組みをしているところですので、真っ先に校長先生のところにお持ちしました。そうしましたら、やはり、図書カードというものがございまして、それとのすみ分けをどうしていこうかという御意見もいただきました。その中で、教育長からもぜひこれを活用してあげなさいというような、校長先生への働きかけもあり、新年度に向けてそのあたりも工夫しながら、連携しながら進めていきたいと思います、力強いお言葉をいただいたところでございます。

また一応、小学生用としておりますが、低学年とはいえ、幼稚園児の園児さんや保育園児さんが使っていただいても全く構わないと思っておりますので、そのあたりもニーズに合わせて対応できたらと思っております。

以上でございます。

大橋委員 やはり、いろいろな取り組みをして、子どもの読書量を上げていくということは必要だなというふうに思っています。未読者をなくしていくということが、やはりひとつ、大きな目的になるかというふうに思います。

それで、子どもの発達段階というのを考えた時に、1年生から3年生の区分、そ

れから4年生から6年生の区分というよりは、1年生から4年生、それからあと高学年の5・6と年生というような、成長の度合いから見ていくと、そういうような区分になるのかなというような感じもしますので、今度もう一度これを見直して作成し直す時に御検討いただけたらなというふうに思います。

以上です。

安間教育長 ありがとうございます。

ほかにございますか。

村松委員 とても素敵な取り組みだと思います。先ほど川口図書館長からもお話がありましたけれども、保育園、幼稚園の子どもたちがこれを使っても良いということで、まずは図書館に来てもらう、川口図書館に行けば良いことがあるというような、例えば、やまくん、リリィ、まゆりちゃんのシールを子どもたちがもらえるだとか、そういう取り組みで小さいお子さんたちに、まずは図書館に足を運んでもらう。そして本をいっぱい読んでもらう。今後の状況次第だと思うんですが、そういったことというのも考えていらっしゃいますかね。

福田川口図書館長 学校においては、例えばですが、ミニ賞状的な、校長先生からの冊数に達したら表彰をしていただくとか、図書館部におきましては、委員さんもおっしゃられたようなシールだとか。また、缶バッチを作成するキットを購入いたしましたので、そんな物を、物で釣るわけではございませんが、達成感を味わってもらうためには、一つのツールというふうなことも視野においておりますので、そんな取り組みを進めていけたらと考えております。

村松委員 さすがですね。そういったツールも活用しながら子どもたちにもっともっと本を読んでいただければなというふうに思っています。

できればそのシールの中にレアシールみたいなものも入れていただいて、どれが入ってくるか分からないみたいな、子どもたちの好奇心もくすぐるような取り組みもやっていただければなと思っています。

以上です。

安間教育長 ありがとうございました。

ほかに委員の方からございますか。

今回良いアイデアをいただきました。良い取り組みだと思いますので、その乳幼

児のお話など、そういった今の話も検討してみてください。

これは、今回のこの取り組みだけに限らず、事務局の皆様にお話しておきたいんですけど、良いことだからやるわけですけれども、その川口図書館長がおっしゃったように、学校でこういう、同じような取り組みというのはやっているわけですね。それと関わりなく自分たちで進めてしまうと、いろいろなものが両立してしまうと、結局活用されないという状況が生まれてしまう。今回、川口図書館長は、近くの松枝小の校長とうまく連携していただいて、すぐには当然、小学校はやっているからできないわけですよ。来年の4月からは、統合した形でやるとなると、もっと良い取り組みになっていくわけで、これからも子どもたちを巻き込むような取り組みについては、学校が今、具体的に何をやっているのか、何を補完するような形にすると、もっとより良いものになるのか、どんな連携が取れるのかという、その視点を、ぜひ事務局の皆様方には持っていただきたい。そうすると、この取り組みはこれで終わりじゃないわけで、これからどんどんどんどん良い形に発展していくと思うんです。他の事業でも同じような事があると思いますんで、皆様方が事業を考える際に、その点は留意をしていただきたいというふうに思います。

それでは、この案件も報告として承らせていただきたいと思います。

他に何か報告する事項はございますか。

廣瀬学校教育部長 保健給食課よりございます。

安間教育長 それでは、保健給食課から報告願います。

野田保健給食課長 それでは、口頭での御報告となります。

11月13日、月曜日に、市立小中学校におきまして、インフルエンザ様疾患による、臨時休業が発生いたしましたので、御報告申し上げます。詳細につきましては、主査の原から御説明いたします。

原保健給食課主査 市立小中学校におきまして、インフルエンザ様疾患による臨時休業が発生いたしましたので、御報告いたします。

今シーズン2017から2018年で、本市での初発でございます。11月13日に第六小学校の5年生で、在籍25名中11名が38から39度の発熱、せき、頭痛の症状があり、学級閉鎖をいたしました。休業期間は、11月13日に早退をいたしまして、11月14日、15日までの3日間となります。インフルエンザ様

疾患による、臨時休業が発生した際には、その日のうちに市のホームページに掲載をいたします。また、小中学校のホームページ上には教育委員会からのお知らせがあり、市のホームページとリンクをしております。あわせてモバイルサイトへも掲載をしており、いち早く保護者には情報の提供をしております。

参考までに、東京都内の公立学校での今季のインフルエンザ様疾患による学級閉鎖についてでございますが、9月5日に大田区の小学校で発生したのが、今期初発でございます。

東京都のまとめに寄りますと、11月5日までの情報で、東京都内の公立学校で、これまで、大田区を含めまして、8つの区市で学級閉鎖の御報告がございます。

また、東京都健康安全研究センターによりますと、現在の状況は、前の週に比べますと、患者数は微増しているという状況でございます。インフルエンザは、例年12月ごろから流行が始まり、1月後半から2月初めにピークを迎え、3月ごろには流行が終わり、4月、5月に落ちつくという状況が、統計的に見られております。

対策といたしましては、予防、かからないようにするということが一番ですので、

1、小まめな手洗い、2、休養・栄養・水分補給、3、せきエチケットの励行、4、適度な室温加湿・換気、5、予防接種など、日ごろからこれらの対策の取り組みを徹底していただくよう、学校へお願いをしております。

報告は以上でございます。

安間教育長 只今、保健給食課からの御報告は終わりました。本件について、御質疑はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

安間教育長 よろしゅうございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

安間教育長 それでは、これで公開の審議は終わりますが、委員の方から何かございましょうか。よろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

安間教育長 ないようであります。

それでは、ここで暫時休憩といたします。

なお、休憩後は非公開となりますので、傍聴の方は退室をお願いいたします。
再開は20分ですよろしゅうございますか。

〔午前10時15分休憩〕